

蜂と神さま 金子みすゞ

蜂はお花のなかに、

お花はお庭のなかに、

お庭は土塀のなかに、

土塀は町のなかに、

町は日本のなかに、

日本は世界のなかに、

世界は神さまのなかに。

そうして、そうして、神さまは、

小さな蜂のなかに。

みすゞさんの優しいまなざし…それは、お花からお庭に、お庭から土塀に、土塀から町へ、町から日本へ、そして、日本から世界へと、どんどん外へ外へと広がっています。  
そして、世界から神さまへと。  
最後には小さな蜂のなかに神さまはおられると言っています。

みすゞさんの言われる神さまというのは、わたしたちの創造主なる神さまかどうかはわかりませんが、けれども、みすゞさんの詩にあるように、確かに神さまは最も小さいものの中にいてくださいます。  
神さまは遠い存在ではないのです。

クリスマスで、わたしたちの心のベツレヘムにイエスさまをお迎えしました。  
イエスさま…インマヌエルの神さまは、わたしたちの心の中に、嬉しい時も悲しい時も、どんな時もいつも一緒にいてくださいます。  
日々の生活の中では何が起こるかわかりません。突然の困難や不幸と思われることに見舞われることがあります。どうしてこんなことが起こるのか、わからないこともあります。  
けれども、どんな時も神さまがそばにいて守ってくださることを信じて歩んでいきましょう。

